

■第1回「未来のペットショップのかたち検討会」まとめ

●開催概要

- ・開催日時：2015年11月4日 15:00～17:00
- ・開催場所：FujisawaSST コミッティセンター「コミッティルーム」
- ・出席者：株式会社カラーズ 佐久間敏雅(発起人)、22団体・個人

●本検討会の目的

- (1) 未来のペットショップ像定義
- (2) (1)の実現に向けた課題抽出&解決策提言(法整備含め)

●討議内容

討議内容の中から、検討会の目的に照らしあわせて、ダイレクトに関わる意見のみ抽出してまとめました。以下、現段階での私たちの構想です。

項目	現在のペットショップの問題・課題	討議内容に対する、カラーズ案	
		ペットショップが果たすべき役割・理想像	法律改正検討項目
生体販売	・利益率が大きい生体販売がペットショップの売上基盤	<ul style="list-style-type: none"> ・動物福祉/動物のQOLや衝動買い抑制の観点から、店頭での子犬の展示販売はしない。(それでもビジネスとして成り立つモデルを確立する) ・犬の個体の“質”を担保し、ブリーディング現場での動物福祉を担保するために、質の良いブリーダーのみを選択して紹介を行う。 ・飼う前に「犬を飼うこと」についての説明・情報提供を行い、本当に犬を飼えるか、どんな犬種が自分のライフスタイルに合っているかを検討する機会を提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・動物を「物」として扱っている民法改正 ・ペットの展示販売に関する条件強化(環境条件の数値化) ・8週齢規制の実効化 ・ブリーディングに関する条件強化&数値基準の設定(繁殖制限、繁殖犬の飼育環境)
	・動物福祉的に問題のある販売環境(ペットショップの店頭でショーケースにいれて展示販売、子犬を抱かせて買わせるなど、衝動買いを促進している販売スタイルが主流)		
	・犬を飼う責任についての説明をせず安易に販売		
	・ブリーダーの質を考慮していない(先天性遺伝疾患や罹病している固体を販売)		
飼い主のフォロー (教育・サポート)	・お金さえ出せばだれでも好きな犬や猫を買える(犬との暮らしで生じる必要な知識を伝えていない)	<ul style="list-style-type: none"> ・飼う前に「犬を飼うこと」についての説明・情報提供を行い、本当に犬を飼えるか、どんな犬種が自分のライフスタイルに合っているかを検討する機会を提供する。 ・犬との暮らしで困ったことが起きた場合に、いつでも相談できる窓口となり、問題解決を飼い主と一緒にやる。 ・病気などでどうしても犬を飼えなくなった時の受け皿を用意する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・動物飼養に関する教育の義務化(カリキュラム化)
	・飼い主とのマッチングをしていない(犬種特性や飼い主のライフスタイルを考慮していない)		
	・売る前に、飼い主へ犬の特性や飼い方を伝えていない		
	・犬を飼うことがどういうこと理解している飼い主が少ない		
	・犬を飼った後に捨てる飼い主がいる		
保護犬・猫	・生体販売のかたわらで保護犬猫の里親募集しているペットショップが都心では散見。地方では保護犬猫の譲渡がビジネスと結びつかず実現しにくい状態	<ul style="list-style-type: none"> ・保護犬の存在を知らしめ、選択肢の一つとして「保護犬を迎える」ことを提案し、保護犬とのマッチングを仲介する。 	
	・犬を飼いたいと思っている人たちが、保護犬猫と出会う場が少なく、迎えたあとについての情報も少ない		